

南九州地域における焼酎びんの
モデルリユースシステム構築検討調査
報告書

平成 16 年 3 月

九州経済産業局
U F J 総合研究所

はじめに

我が国においては、循環型経済社会の構築に向け、各種法令の制定等を通じた循環型システム構築のための環境整備に努めているところである。また、それら政策を強力かつ実効性あるものにするためには、消費者や事業者等の主体的な行動を導くシステムを確立することが望まれるところである。

特に、3Rの中でも、リユース等川上分野での対策を講じることが、ごみ減量化及び資源の有効利用の観点から望ましく、とりわけ、容器包装類等の消費者が日常生活で使用する品目の循環システムを構築することが普及促進を図ることからも有効である。

多くの自治体では容器包装リサイクル法に基づく品目について分別収集が行われており、中でも、びんにおいては、PETや紙・プラに比べてその取組みが顕著となっている。

しかしながら、びんの再生利用においては、その大半が破碎等によるカレット化を経て、びんの原料や路盤材等として再利用されるほかは、埋め立て処分をされているところであり、より川上での有効な活用が望まれる。

こうした状況を踏まえ、今般、焼酎の主要産地・消費地である南九州地域における広域的なびんのリユースシステムを構築することを目的に、南九州地域におけるびんの流通システムの実態を把握するとともに、生産・流通等各過程における自治体や消費者等各主体別の課題を踏まえた全国モデルとなるリユースシステムについて調査検討を行った。

これらの調査研究が、グローバルな循環型社会の形成に多少なりとも寄与できれば幸いである。

なお、本事業の実施にあたり、ご多忙の中にもかかわらずご指導・協力をいただいたアドバイザー等の方々、ヒアリング等にご協力をいただいた関係業界の方々に対し深く感謝するものである。

平成16年3月

九州経済産業局リサイクル推進課

アドバイザー等名簿

(敬称略)

	氏 名	所属・役 職
アドバイザー	吉野 馨	鹿児島県酒造組合連合会 専務理事
	堂原 久稔	ヤマエ久野株式会社 酒類部 課長
	田中 茂	鹿児島県小売酒販組合連合会 常務理事
	平野 健一	九州硝子びん商業組合 理事長
	英 伸也	本格焼酎事業協同組合 専務理事
	田村 豊也	ガラスびんリサイクル促進協議会 リターナブル部会 部会長
行政	野津 隆文	熊本国税局 課税部 酒税課 酒類業調整官
	緒方 雄一	熊本国税局 課税部 酒税課 団体企業係長
	桑水流 力郎	鹿児島県 環境生活部 環境整備課 課長補佐
	石丸 晃	水俣市 建設産業部 商工観光課長

目 次

【本 編】

I. 南九州地域における900mLびんの流通・回収等の実態・・・・・・・・・・	1
1. 調査方法	1
2. 南九州地域の現状と特徴（900mLびん）	3
3. 各県の現状と特徴（900mLびん）	10
4. 720mLびんの現状と特徴（参考）	20
II. アンケート調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
1. 実施概要	24
2. 結果概要	26
3. アンケート集計結果	27
III. 関係機関へのヒアリング調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・	43
1. ヒアリング調査実施概要	43
2. 一次ヒアリング調査結果概要	44
3. 二次ヒアリング調査結果概要	48
IV. 広域的モデルリユースシステムのあり方・・・・・・・・・・・・・・・・	57
1. 基礎調査より得られる留意ポイント	57
2. モデルリユースシステム（案）	62
V. 実現に向けた推進体制の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・	66
1. 実現のための具体方策	66
2. 求められる役割分担とメリット	68